

■**小熊秀雄** 詩人。プロレタリア文学運動退潮期に風刺きいた抵抗詩を詠み、画才もあったが、早世。近年再評価が進んでいる。

おぐまひでお

田中正造直訴1901＝ 小樽市稲穂町で、洋服・毛皮仕立職人三木清次郎の子に生まれる。母は小熊マツ。7つ上に異父姉。

日露戦争始・1904＝ 3歳：母が未入籍のまま死去。父がナカと再婚し、姉は小樽の安田家へ養女に出され、一家で稚内に移住。

日露戦争終・1905＝ 4歳：
間もなく、父と継母が樺太郡豊原に移住したため、

韓国併合・・・1910＝ **9歳**：

明治天皇没・1912＝11歳：父方の叔母の住む秋田県大館の小学校に転校、

稚内・豊原・大館を経て、樺太西海岸の泊居に移住し、

民本主義・・・1916＝15歳：泊居の尋常高等小学校2年を卒業、
漁師や昆布採り・養鶏場・炭焼き・農業の手伝い・材木人夫などを転々とし、パルプ工場の職工になった時、機械に挟まれて、右手の食指・中指の2本を失う。のちに小熊自身この頃のことを農奴時代と言う。

ベルサイユ条約・1919＝**18歳**：

原敬首相暗殺1921＝20歳：徴兵検査を受けて、母マツの私生子であることを知り、以降、小熊姓を名乗る。3歳の時別れた姉ハツが旭川にすることを知り、尋ねて18年ぶりに再会。小樽で呉服店店員となり、反物行商をする。

水平社結成・1922＝21歳：旭川の姉の所に寄寓し、**旭川新聞の見習い記者となり、間もなく社会部記者になるとともに、文才を認められ文芸欄も担当。**

関東大震災・1923＝22歳：**旭川新聞に詩作品「奪われた魂」。童話も手がけ、ペンネームで作品や取材記事を書く。**

護憲三派圧勝1924＝23歳：画家高橋北修と共に上京し同宿、詩を売り歩くが一編も売れず、挫折して帰旭。

治安維持法・1925＝24歳：神居小学校の音楽教師崎本つね子と結婚。再上京し、松竹キネマへ入社を図るが不採用となり、帰旭。妊娠中の妻を樺太の父の家に預け、旭川に戻る。

円本時代始・1926＝25歳：長男誕生し、妻子共に旭川に来る。再び旭川新聞社に勤め、旭川歌話会の設立に参加し、短歌をつくる。

金融恐慌・・・1927＝26歳：**今野大力・鈴木政輝らと詩誌「円筒帽」を発刊し、精力的に執筆。かたわら、油彩「妊婦」を描く。旭川新聞に挿絵を入れたエッセイを連載。**

共産党事件・1928＝**27歳**：父が死去。**旭川新聞社を退職し、家族を伴い上京。{国本}{麻船具}{実業新報}の編集に従事、**

世界恐慌・・・1929＝28歳：都内を転々としつつ、**翌年にかけて民謡調の詩「樺太節」を{民謡音楽}に掲載。**

海軍軍縮条約1930＝29歳：長男の入院治療費の未払い・家賃の滞りなど窮乏の生活で、自らも喘息の発作に苦しむ。

満州事変・・・1931＝30歳：***プロレタリア詩人会に入会し、「スパイは幾万ありとて」発表。プロレタリア文学運動に参加。**

五一五事件・1932＝31歳：**詩人会が日本プロレタリア作家同盟(ナルプ)に吸収され、上部組織日本プロレタリア文化連盟(コップ)への弾圧検挙で、自らも29日間拘留。「代表送別の詩」。**

国際連盟脱退1933＝32歳：**小林多喜二の悲報に集い、藤森成吉ら3人と逮捕され、再拘留。弾圧のため発表の場を失う。この頃、マヤコフスキー・プーキン・ゴーゴリなどを読み、影響を受ける。**

帝人疑獄事件1934＝33歳：**遠地輝武・新井徹らと、詩誌{詩精神}を創刊、詩作品を多数発表。近所に住む画家寺田政明の知己を得てアトリエ通い、デッサン・ペン画を多く描く。**

芥川直木賞始1935＝34歳：***寺田装丁で長編叙事詩「飛ぶ櫓」刊行。朝鮮に関する優れた叙事誌「長長秋夜」も発表。美術誌に評論を執筆。機関誌{太鼓}を発行するも、**

二二六事件・1936＝35歳：**解散を命じられ、{詩精神}改題した{詩人}発刊。読売新聞の風刺詩・文が好評で、諸誌に詩ほかを発表。**

日中戦争始・1937＝**36歳**：**長編風刺詩「文壇諷詩曲」。池袋の喫茶店でデッサン・ペン画の個展。{都新聞}の匿名批評欄連載。諸誌に寄稿。日中戦争勃発とともに、左翼系文学誌は壊滅状態となって、窮乏の極みとなり、**

健保+総動員 1938＝37歳：**{農大新聞}に風物詩「東京風物伝」。帰郷し、旭川新聞に「旭川風物詩」を連載。逗子の知人を訪れ、山登りで咯血、以降悩まされる。大井広介・本庄陸男らと{槐}創刊。油彩「自由像」。小説「犬は何故尻尾を振るか」発表。**

第二次大戦始1939＝38歳：**{日本画家論}発表。{槐}に長詩「託児所をつくれ」「諷刺大学生」「哀憐詩集」を掲載。大井広介・平野謙・佐々木基一・荒正人等と{現代文学}創刊。諸誌に評論を掲載。**

大政翼賛会・1940＝39歳：**{現代文学}に、「愚感詩集」「遺逸詩集」「流民詩集」「通信詩集」を発表。旭太郎のペンネームで、SF漫画の先駆的傑作とされる子供漫画のための台本「火星探検」(大成のぼる画)を書いてまもなく、肺結核で没した。**